



株主のみなさまへ

第54期 中間事業報告

2006.3.1 ~ 2006.8.31





TOP Message

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

ここに第54期上期(平成18年3月1日から平成18年8月31日まで)の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

全体の概要

当中間会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や、民間設備投資の増加などを背景に緩やかな景気回復基調で推移し、雇用環境の改善が進み個人消費も堅調に推移しました。また、日本銀行の量的緩和政策が解除されるなどデフレ脱却の兆しも見えてまいりました。

この様な状況のもとで、当社は収益向上を図るため経営の効率化や財務体質の強化を推進し、顧客満足の向上のため商品構成・売場提案方法の見直し、接客・サービス向上のための人材育成、店舗の快適性を高めるための環境整備を実施してまいりました。

これらの結果、当中間会計期間におきましては、売上高 7,599 百万円(前年同期比 1.3%増)、営業利益 184 百万円(前年同期比 23.4%増)、経常利益 303 百万円(前年同期比 12.4%増)、固定資産の減損会計を適用し特別損失として 440 百万円を計上したため、中間純損失 130 百万円(前年同期は 13 百万円の純利益)となりました。店舗数につきましては、61 店舗(前事業年度末 60 店舗)となっております。



部門別概要

① カルチャー事業部

カルチャー事業におきましては、レンタルは DVD の市場浸透を背景に商品を大幅に拡充したこと、携帯音楽プレイヤーの普及に伴いロングセラー CD の品揃えを強化しました。中古書籍、中古ゲームにつきましては、買取りの強化と品揃えを充実いたしました。

一方、新作ゲームは新作ソフトのタイトルに恵まれ売上を伸ばしました。

この結果、売上高6,854百万円(前年同期比 4.3%増)となりました。店舗につきましては前事業年度末と同じ48店舗となっております。

② ファッション事業部

ファッション事業におきましては、売場における商品提案力の強化と人的サービスの向上に努めましたが、天候不順の影響もありました。

この結果、売上高744百万円(前年同期比 20.0%減)となりました。

店舗につきましては2店舗を出店し1店舗退店したことにより 13店舗となっております。





今後の方針

当社は、お客様に、本、音楽、映画、ゲーム、衣料品で、お買い物の楽しみや、日々の生活の豊かさを感じていただくために、ライフスタイルを提案する生活提案業として、心に残る感動を提案する店舗パッケージ創りを目指し、業績の向上に取り組んでまいりました。

当社は変化する経営環境・顧客ニーズに対応し安定的に利益を確保できる仕組みづくりを目指し、継続的に商品やサービスの質を向上させ、その差別化を進めてまいります。

カルチャー事業におきましては、地域ドミナント化を進めるために新規出店及び店舗買収を含めた出店政策で地域内のシェアを高めてまいります。営業面では映像メディア媒体において DVD の普及率の高まりにあわせ、DVD 品揃えの拡大し、またデジタル音楽プレイヤーの普及に伴い、ロングセラーCD の充実を進めてまいります。

インターネットによる配信の広がりにより、レンタル・販売ともに需要動向の変化が予想されますが、売場提案力と商品力を強化し対応してまいります。

ファッション事業におきましては、既存店の見直しを行い、顧客ニーズを重視し、地域に密着した専門店としての商品構成で差別化を図り、顧客満足を追求した営業政策を立て再構築してまいります。

当社では、お客様に感動を提案できる店舗創りの観点から、お客様の利便性・快適性を高めるため、商品の拡充、店舗の環境整備、接客サービスの向上、人材育成に力を入れてまいります。併せて、業態別運営力、管理能力を高めるための組織変更を実施し、収益の拡大に努めてまいります。



また、企業経営環境が大きく変化する中、コーポレート・ガバナンスが重要な経営課題であると認識し、経営管理体制における牽制機能の強化し、より透明性を高め、健全で効率的な経営を実現してまいります。

以上の政策を的確に実施し、業績の進展に全力を上げて邁進する所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 後藤 行宏



貸借対照表

	54 期中間(A)	53 期中間(B)	53 期	(A)-(B)
資産の部				
流動資産				
現金及び預金	2,670,535	2,471,206	4,126,193	199,329
売掛金	77,050	90,880	72,926	△13,829
たな卸資産	1,714,827	1,725,106	1,755,760	△10,278
その他流動資産	440,841	824,769	462,976	△383,927
固定資産				
有形固定資産	5,736,340	6,082,357	6,109,025	△346,016
無形固定資産	122,390	231,036	182,268	△108,645
投資その他の資産	4,555,419	4,518,891	4,558,023	36,527
資産の部合計	15,317,406	15,944,247	17,267,173	△626,840
負債の部				
流動負債				
支払手形及び買掛金	650,614	794,996	750,824	△144,382
短期借入金	1,774,357	1,837,523	2,920,111	△63,165
その他流動負債	894,514	1,415,610	1,343,480	△521,096
固定負債				
社債	540,000	280,000	560,000	260,000
長期借入金及びその他固定負債	1,023,697	1,097,236	1,029,355	△73,538
負債の部合計	4,883,183	5,425,366	6,603,771	△542,182
純資産の部				
資本金	2,546,671	2,546,671	2,546,671	0
資本剰余金	2,705,505	2,674,144	2,705,505	31,361
利益剰余金	4,843,183	5,003,904	5,042,296	△160,721
自己株式	△317	△317	△317	0
その他有価証券評価差額金	339,179	294,478	369,245	44,701
純資産の部合計	10,434,223	10,518,881	10,663,402	△84,657
負債・純資産の部合計	15,317,406	15,944,247	17,267,173	△626,840

*1 現金及び預金

売上以外の増減要因

- ・ 敷金・建設協力金の回収 115 百万円
- ・ 借入金の返済 △426 百万円

*2 有形固定資産・無形固定資産

- ・ 減損損失計上による減少

*3 支払手形及び買掛金

- ・ カルチャー事業 386 百万円
- ・ ファッション事業 264 百万円

上記の内、ファッション事業の支払手形の金額 178 百万円

損益計算書

	54 期中間(A)	53 期中間(B)	53 期	(A)-(B)
売上高	7,599,487	7,500,138	15,435,868	99,349
売上原価	4,452,650	4,334,023	9,072,846	118,626
売上総利益	3,146,837	3,166,114	6,363,022	△19,277
%	41.4%	42.2%	41.2%	△0.8%
販売費及び一般管理費	2,962,462	3,016,703	6,128,979	△54,241
営業利益	184,374	149,410	234,042	34,963
%	2.4%	2.0%	1.5%	0.4%
営業外収益	487,292	492,934	986,869	△5,641
営業外費用	367,755	371,934	754,487	△4,178
経常利益	303,910	270,410	466,424	33,500
%	4.0%	3.6%	3.0%	0.4%
特別利益	38,096	128,625	184,435	△90,528
特別損失	440,440	321,961	408,892	118,478
税引前中間(当期)純利益又は税引前 中間純損失	△98,433	77,073	241,968	△175,507
法人税、住民税及び事業税	141,858	83,525	243,914	58,332
法人税等調整額	△110,234	△19,955	△53,686	△90,278
中間(当期)純利益又は中間純損失(△)	△130,057	13,503	51,740	△143,561
%	△1.7%	0.2%	0.3%	△1.9%

*1 売上高

・カルチャー事業	6,854 百万円
・ファッション事業	744 百万円
	<hr/>
	7,599 百万円

カルチャー事業は売上増加となるが、ファッション事業部は天候不順の影響により売上減少となる。

*2 営業利益

売上総利益は減少したが、経費を圧縮したことにより営業利益は増加。売上高に対する営業利益の比率 0.4% 増加。

*3 特別損失

・減損損失	440 百万円
-------	---------

キャッシュ・フロー計算書

	54 期中間(A)	53 期中間(B)	53 期	(A)-(B)
営業活動によるキャッシュ・フロー	344,338	290,705	496,518	53,632
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154,462	301,534	201,656	△455,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,645,533	△1,318,477	△99,718	△327,056
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△1,455,657	△726,237	598,456	△729,420
現金及び現金同等物の期首残高	3,672,900	3,044,111	3,044,111	628,788
合併に伴う現金及び現金同等物の受入	—	—	30,331	—
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,217,242	2,317,874	3,672,900	△100,631

*1 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・ 税引前中間純損失 △98 百万円
- ・ 減価償却費 160 百万円
- ・ 減損損失 440 百万円
- ・ 仕入債務の減少 △100 百万円
- ・ 法人税等の支払 △112 百万円

*2 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・ 敷金・建設協力金の回収 115 百万円
- ・ 有形固定資産の取得による支出 △163 百万円
- ・ 投資有価証券の取得による支出 △130 百万円

*3 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・ 長期借入金の借入れによる収入 400 百万円
- ・ 短期借入金の純増減額 △1,030 百万円
- ・ 長期借入金の返済 △426 百万円
- ・ 社債の償還による支出 △520 百万円

主要な営業所及び店舗

(2006年8月31日現在)

事業所名	所在地	店舗数	
本社	静岡県沼津市		
カルチャー店舗	静岡県沼津市他	24店舗	48
	神奈川県座間市他	14店舗	
	東京都府中市他	3店舗	
	愛知県名古屋市	3店舗	
	京都府京都市他	2店舗	
	埼玉県狭山市他	2店舗	
紳士服店舗	静岡県沼津市	2店舗	2
カジュアル店舗	静岡県函南町他	6店舗	6
レディース店舗他	静岡県沼津市他	5店舗	5
合計			61



Bスポーツ静岡千代田店
平成18年7月15日OPEN



株式の状況

大株主

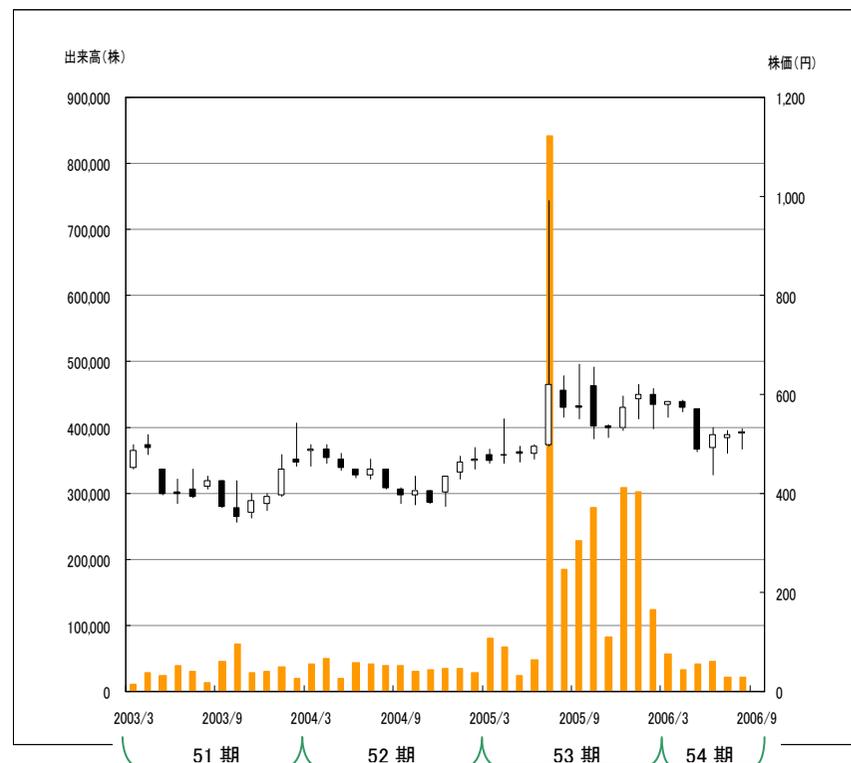
(2006年8月31日現在)

(単位:千株)

株主名	所有株式数(発行済株式総数 に対する所有株式数の割合)
有限会社ゴトーエンタープライズ	3,481,920 (37.8%)
後藤 行宏	1,058,558 (11.4%)
後藤 菊枝	672,832 (7.3%)
有限会社ジーティー企画	520,000 (5.6%)
後藤 全弘	460,150 (4.9%)
ゴトー共栄会	423,700 (4.6%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	231,000 (2.5%)
日本ジャンボ株式会社	188,900 (2.0%)
株式会社静岡銀行	173,000 (1.8%)
株式会社静岡中央銀行	100,000 (1.0%)
■発行可能株式総数	24,634,000 株
■発行済株式の総数	9,207,753 株
■株主数	1,030 名

(前期末比 124 名減)

株式・出来高の推移



役員

(2006年9月1日現在)

代表取締役社長 後藤 行宏
 代表取締役専務 後藤 久徳 (事業本部長)
 常務取締役 土橋 文彦 (管理本部長兼総合企画部長)

【執行役員】

市川 文宏 (管理本部 人事部長)
 後藤 知弘 (事業本部 ファッション事業部長)
 高橋 英明 (事業本部 カルチャー事業部長)
 小池 修一 (管理本部 総務部長)
 小原 政寛 (管理本部 財務部長)

株式メモ	
事業年度	3月1日～翌年2月末日
基準日	定時株主総会については2月末日 その他の必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
利益配当金受領 株主確定日	毎年2月末日
中間配当金受領 株主確定日	毎年8月31日
公告掲載新聞名	日本経済新聞
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120 - 232 - 711
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
1単元の株式数	100株

お知らせ

株式に関する諸手続きについて

住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求等の株式に関する諸手続きにつきましては、左記の株主名簿管理人あてにご照会ください。

また、配当金につきましては、銀行口座への振込のご指定ができますので、ご希望の方は、左記株主名簿管理人あてに配当金振込指定書をご請求の上、お申し込みいただきますようお願い申し上げます。

なお、住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求につきましては、株主名簿管理人の左記フリーダイヤルにて受け付けております。

株式会社 **ゴト**

〒410-0063 静岡県沼津市緑ヶ丘10番地の1

TEL (055) 923 - 5100

ゴトホームページ <http://www.gms.co.jp/goto/>